

つくしんぼ

～第25号～

DPCホスピス支援の会だより
-ホスピスを市民の手で-



御挨拶

お日様がキラキラと輝く日差しの中で 第11回ホスピス祭りが「輝け！いのち」のテーマをもって “育てよう 地域連携の輪”、“つなげよう ホスピスの輪”、“続けていこう 復興支援の輪”のサブタイトルのもとに開かれました。

支援の会の皆様をはじめ クリニックに関わりのある方々、ポスターやチラシホームページ等を見て遠いところから来て下さった方、地元地域の方々等大勢の方々に尊いご支援とご協力をいただき 盛大のうちにお祭りができましたことに 心から厚く御礼申し上げます。当日は 2000 人近い方々が参加され土地理事長先生のホスピスの話や音楽、バザーや食べ物やなど多彩なプログラムに多くの方々が拍手を送っておりました。

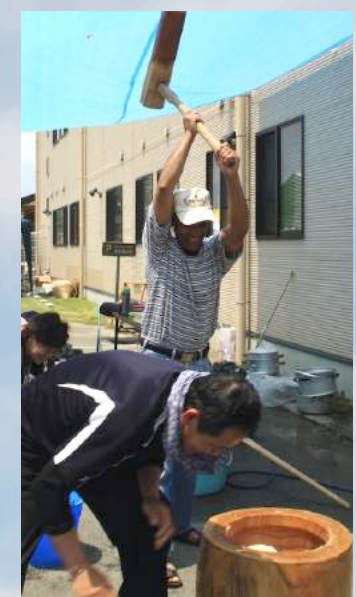
この「ホスピス祭り」は医療法人どちペインクリニックのホスピスの医療哲学のアピールであるとともに 我々の支援の会の活動の場でもあります。

この「ホスピス祭り」が これからも大勢の方々のご支援をいただいて なおさらに発展していくことをお願いし、お祭りの御礼とさせていただきます。いろいろとありがとうございました。

代表

吉田 永正





理事長あいさつ

DPCホスピス祭りを終わって

多くの皆さまのおかげで、第11回DPCホスピス祭りが成功裏に終わりました。その翌週には梅雨入りしたので、天も応援してくれたと喜んでいきます。



2001年、私たちは山梨県に緩和ケアのできる入院病床を造ろうと考えました。しかし、制度上「病院」をつくることはできませんでした。そこで、有床診療所でホスピスケアをしようと志しました。それでも大変な費用が必要です。その時考えたのは、「この事業は一個人ではできない大変な大事業である。しかし、多くの人々と一緒に取り組めば実現可能であろう」ということです。また、ホスピスの医療は一医療機関でできるものではなく、たくさんの人々との連携と協力によって初めて可能なものであると考えていました。

そこで当時、山梨県にホスピスのできる病床を造ろうと運動していた「山梨ホスピス協会」と「ななしのホスピス」にお願いし、それを基盤に「医療法人どちペインクリニックのホスピスを支える市民の会（略称DPCホスピス支援の会）」を創っていただきました。市民の皆さまに支えられながら、市民の皆さまに必要な医療を行うという姿勢はこの時から貫かれています。

DPCホスピスを支える市民の会では広く募金活動も行なっていただきました。その一環としてバザーなどを中心とした第1回DPCホスピス祭りが、2003年2月に昭和町の当時のどちペインクリニックの駐車場と診療所で行われました。冬晴れの寒い日でしたが、1200人もの参加がありました。それ以来、DPCホスピス祭りは毎年行われてきました。

祭りはDPCホスピス支援の会が呼びかけ、実行委員会を作って行われています。今年も多くのボランティアの活躍がありました。深く感謝申し上げます。

私たちの仕事や活動は、多くの市民の方々と一緒にあります。それだからこそホスピス祭りも地域に根付き、年々盛り上がっていると思います。

祭りに参加することはもちろん楽しいことです。しかし、祭りを作る側になるともっと楽しいのです。これからも皆様と一緒にDPCホスピス祭りを育てて行きたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

2013年6月

医療法人 どちペインクリニック
理事長 土地 邦彦



お祭りでみなさんに描いていただいた絵は玉穂ふれあい診療所のセラピードッグ「ベン」くんのお家の壁になりました。みなさんの描いた明るい思いに囲まれてベンくんも幸せそうです。ご協力ありがとうございました。

編集後記

今回で11回目となったホスピス祭りが2000人近い来場者と、300人のお手伝いを頂き、盛大に行われました。バザー品を提供してくださった皆さん、野菜を届けてくださった近所のおじちゃん・おばちゃん、暑い中お祭りを盛り上げてくださったボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。多くの方の“輝くいのち”が結集し、最後は感動のうちに幕を閉じることができました。これからも支援の会では様々な活動を続けてまいります。ご支援よろしくお願いいたします。

DPCホスピス支援の会だより
つくしんぼ〜25号〜

山梨県中央市成島2439-1
玉穂ふれあい診療所内
TEL055-278-5670
<http://www.dpc-hos.or.jp>

医療法人どちペインクリニックの
ホスピスを支援する市民の会
代表 吉田永正



「ゆっくりねろし」
かもがわ出版
☆好評発売中☆

編集委員
佐野利恵子 井上三紀子 佐野しげ子
小澤敏幸 伊藤和也